

平成19年度 安全保障国際シンポジウム

北朝鮮の核問題

— 平和と安定に向けて —



平成 19 年度 安全保障国際シンポジウム報告書

北朝鮮の核問題
—平和と安定に向けて—

防衛省 防衛研究所

防衛省防衛研究所

編集・発行 防衛省防衛研究所

©2008 National Institute for Defense Studies

〒153-8648 東京都目黒区中目黒2-2-1

Tel : 03-3713-5912

URL : <http://www.nids.go.jp/>

防衛研究所は、防衛省の研究・教育機関であり、防衛・安全保障に関する調査研究、幹部自衛官および事務系幹部職員の教育を行っています。

本書は、防衛研究所が開催した平成19年度安全保障国際シンポジウム（於：東京。2007年12月13日）の報告書です。本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、必ずしも執筆者の所属する組織や政府の見解を代表するものではありません。

本書の全部又は一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合は、出版者からの書面での許可が必要です。

ISBN 978-4-939034-50-3

翻訳・カバーデザイン・印刷 (株) アーバン・コネクションズ

目次

| | |
|------|---|
| まえがき | 5 |
|------|---|

第I部

北朝鮮核問題を各国はどう見ているか

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 北朝鮮の非核化—いつ実現するのか？ | |
| | 朱鋒（しゅ ほう） 9 |
| 2 北朝鮮の核のジレンマと六者会合—韓国の視点 | |
| | 文正仁（ムン・ジョンイン） 25 |
| 3 ロシアと北朝鮮—『社会主義的連帯』から擬似同盟へ | |
| | アンドレイ・ランコフ 47 |
| 4 北朝鮮の非核化に対する米国の政策の一貫性 | |
| | ヴィクター・チャ 59 |

第II部

北朝鮮の核開発—政治的・軍事的意味と解決のプロセス

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 5 米朝交渉—破綻した外交から関与へ | |
| | チャールズ・プリチャード 71 |
| 6 北朝鮮核問題の外交的・軍事的側面 | |
| | 韓庸燮（ハン・ヨンソプ） 83 |
| 7 北朝鮮核兵器開発の狙い—体制保証のため？ | |
| | 武貞秀士 95 |

| | |
|-------|-----|
| 執筆者紹介 | 111 |
|-------|-----|

| | |
|--------------------|-----|
| 安全保障国際シンポジウム・プログラム | 114 |
|--------------------|-----|